

かもめだより No.22

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2016年3月17日

3月定例議会号

発行 市民クラブ

発行責任者 鈴木秀郷

「今、何をするか！」論戦

向かうべき方向性

市民クラブの主張

「東部で一番魅力ある都市を目指すのなら、ソフト・ハードとともに、制度面で中核市に移行を。」



当局回答

「中核市となるためには、保健所や児童相談所を市独自で持つことになり、難しい。」



駅周辺整備事業

市民クラブの主張

「貨物駅用地確保の遅れにより他地区住民にも大きな影響が出ている。例えば、このことで富士見町にお住まいの方は、区画整理事業等が進まず、お困りである。そのような人たちのためにも、早急な貨物駅用地確保に全力を。」

当局回答

「貨物駅の用地交渉が終了しないと、他の地区の様々な問題も解決しない。誠実な用地交渉で早急な解決を図りたい。」

道路建設

市民クラブの主張

「地元の人々の安全性、利便性の向上を基本とした道路建設を目指していくべきである。特に、道路本体の安全性は重要である。」

当局回答

「道路建設にとって安全の確保は基本であり、安全性を軽視するような建設はしない。」



福祉教育医療

市民クラブの主張

「市町によって水準が違ったりしている諸制度について、市町間で情報交換、研究を重ね市民生活の安心安全の充実を図れ。」



当局回答

「他市町の状況を把握し、あるべき福祉・教育・医療を近隣他市町とともに築いていきたい。」

※写真と本文は関係ありません

所属議員の活動

3月議会は新年度の予算が承認され、平成28年度に向けた議論がなされました。

適正規模の学校配置は、子供のために

「学校における規模のアンバランスにより、本来果たさなければならない学校の役割が果たされない恐れがある。適正配置の検討は、地域等に早めに投げかけ、子ども達のために良い環境となるものにしてほしい。」



質問に立つ
霞恵介議員

湧水を活かしたまちづくりを

「沼津には多くの地区で素晴らしい湧水が見られます。湧水を貴重な地域資源としてとらえ、イベントや有効なPRにより、積極的に活用すべし。また災害時の飲料としても活用を。」



質問に立つ
梶泰久議員

フードバンク事業に市として協力を

「フードバンク事業は、余った食料・使わない食料を集め、選別し、生活困窮者や施設などに提供をする事業です。他自治体に遅れることなく、本市においても、広報の支援、回収ボックスの設置をして欲しい。」



質問に立つ
渡部 一二実議員

定住人口増へ、仕事がある地域づくりを

「定住人口の増加には基盤整備を行ったうえで、産業振興を図ることが必要だ。種々の方策を用い、沼津に来て仕事ができる環境を作っていきましょう。」



質問に立つ
原信也議員

「精神障害者の交通運賃割引制度の拡充を求める意見書」

精神障害者の自立や社会参加の機会をより広げるため、身体障害者と同等の交通機関の割引を求める意見書が全会一致で採択されました。



代表して
提案する
深田昇議員

「魅力と活力あふれる沼津へ」28年度予算を承認

平成28年度一般会計・特別会計・企業会計が承認されました。より多くの市民が生き生きと活躍できる沼津にしていきたいと思います。



報告を行う
鈴木秀郷
委員長

道路と古墳の両立へ

沼津南一色線開通と高尾山古墳の保存のための議論がなされています。皆さまのご意見を市民クラブにお寄せください。

ホームページを覗いてみてください。

沼津市民クラブ

検索